

## 申7号 「TRAIN SUITE四季島」の運行に関する申し入れ

本部は、『TRAIN SUITE四季島』の運行に関する申し入れ」を本日行いました。

「TRAIN SUITE四季島」は、JR東日本の看板商品と打ち出しており、車両の豪華さだけでなくサービスも高い品質が求められます。国鉄改革を担うころから、安全で質の高いサービスの追求にむけて、労使で認識を合わせてきました。

今回の「TRAIN SUITE四季島」の運行に関しては、その全容が明らかにならないまま、新たな職場が設置され、乗務員の選抜が行われ、試験走行が始まっています。E235系電車の教訓から、十分な走り込みと関係社員の訓練は重要です。このまま本格運用が始まれば、さらなる問題が発生しかねません。

本部は、安全を第一に「TRAIN SUITE四季島」が運行されるように議論をつくり出していきます。

### □申し入れ項目（全14項目）

1. 本社運輸車両部内に「四季島車掌区」を設置した目的を明らかにすること。また、車掌の異動サイクルや今後の人事運用を明らかにすること。
2. 運転士、車掌の選任基準を明らかにすること。また、運転士の選考はライフサイクル深度化施策に基づき「運輸のプロ」を主体に選考すること。
3. 運転士・車掌の教育・訓練スケジュールを明らかにすること。
4. 運転士の教育・訓練が着実に実施できる要員を配置すること。
5. 車掌の勤務体系及び業務内容を明らかにすること。
6. 車掌とトレインクルーの乗り込み体制と運行中の業務区分を明確にすること。
7. ダイニングおよびラウンジカー等の運営はどこが事業者が行うのか明らかにすること。また、運営にあたっては、安定的な要員を確保し質の高いサービスを提供すること。
8. 検査体制は「新動力車整備実施基準則り施工」あるが具体的な検査体系、検査項目を明らかにすること。
9. 仕業検査、機能保全の要員体制、勤務種別の変更等を明らかにすること。
10. 営業運転中に臨時修繕が発生した場合の即応体制を明らかにすること。
11. 連結時運転台上部のガラス破損、ユニット基盤焼損、パンタグラフの不具合等の初期故障が発生し信頼性が失われている。車体の強度、システム、各種部品等の初期故障を原因究明し、具体的な対策を講じること。
12. 尾久車両センターの検修庫を10両編成が入庫できる設備に改修すること。また、セキュリティを重視した処置をおこなうこと。
13. 運行開始前に想定される予備品を確保すること。また、検修に必要な特殊工具は関係箇所に配備し、検修社員に必要な教育をおこなうこと。
14. 従来車と比較し車両重量が重いことから、軌道設備に負担がかかるため、運行する行路は慎重に選定すること。